

2023年7月19日



横浜国立大学および横浜国立大学教育学部附属横浜中学校における 独自の金融教育プログラム「はまぎん おかねの教室」の取組拡充について

コンコルディア・フィナンシャルグループの横浜銀行（代表取締役頭取 片岡 達也）は、国立大学法人横浜国立大学（学長 梅原 出、以下「同大学」）および同大学教育学部附属横浜中学校（校長 松原 雅俊、以下「同中学校」）において、当行独自の金融教育（※1）プログラム「はまぎん おかねの教室」（以下「本教室」 ※2）の取り組みを拡充し、将来の金融教育の担い手となる教育学部の学生への講義などを実施しますので、お知らせします。

内閣官房が掲げる「資産所得倍増プラン」において、2024年度より官民一体となった金融経済教育を戦略的に実施していくことが決定するなど、金融教育の必要性が高まっています。当行は地域金融機関として、地域の持続的な成長と次世代を担う青少年の健全な育成の観点から、金融教育を重要な責務として積極的に取り組んでいます。同大学とはこれまで、経営学部生および経済学部生に向けて、寄付講座をおこなっており、今年度の寄付講座では「おかねの基礎教育」と「資産形成の導入」の講義2コマを実施しました。このたび同大学と連携し、多面的に金融教育を展開することを目的に、2023年7月19日（水）および2024年1月（日程未定）の2日間で、将来の金融教育の担い手となる同大学教育学部の全2年生に、「金融教育の必要性やおかね基礎教育の授業実践」の講義を実施します。さらに、2023年10月27日（金）・11月10日（金）・同月17日（金）の3日間にわたり、同中学校の全3年生に「おかねの基礎教育」の授業を合計6コマで実施予定です。

横浜銀行は今後も、地域の未来を担う子ども達の育成に取り組み、地域の活性化に貢献していきます。

（※1）金融教育とは、おかねに関する知識の勉強だけではなく、おかねという切り口を通じて、より豊かな生活や社会に貢献する力を育む教育です。

（※2）当行は、「おかねの価値観」「おかねの使い方」「おかねを稼ぐ」「金銭管理」の4つを「おかねの基礎教育」と位置付け、これらを学んだうえで、資産形成や金融トラブルなど金融リテラシーを学ぶプログラムを推奨しています。

以上

本件に関する照会先（報道関係）

横浜銀行 総合企画部コーポレートコミュニケーション推進室 TEL：045-225-1141